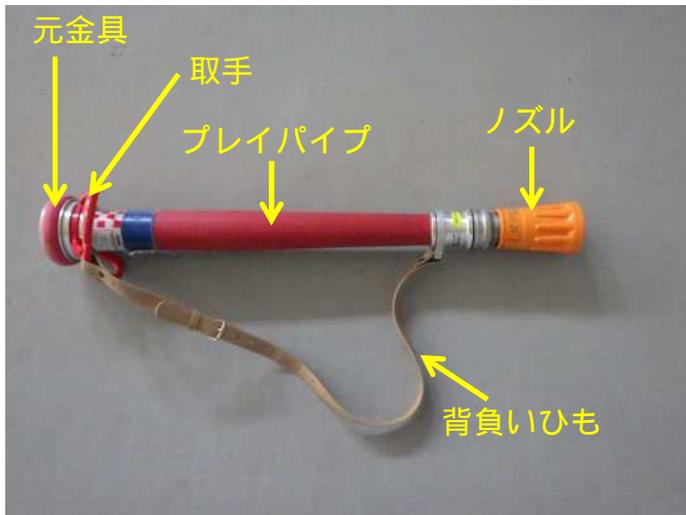


筒先取扱い要領

1 筒先各部の名称



2 筒先を背負う要領

右手でノズル付近（回転部分以外）を持ち、左手で背負いひもの中央部を持ち、右手を頭上に、左手を右腋窩にして、頭及び左腕を背負いひもにくぐらせ、ノズルが右肩に元金具が左腰の近くにくるようにする。



3 筒先をおろす要領

左手で筒先の取手近くのプレイパイプを握り、元金具を腹部から頭上へ移動し、背負いひもを右手で持って頭をくぐらせ、右手はノズル付近（回転部分以外）を持ち、左手はプレイパイプに持ち変える。



4 筒先の結合要領

左足先で、オス金具がやや上を向くように金具付近を押さえ、オス金具に筒先を合わせて差し込んで結合した後、筒先を引いて結合（ツメが掛かっていること）を確認する。



5 基本注水姿勢

- (1) 右手は取手を握って右腰にあて、左手はノズル付近（回転部分以外）又はプレイパイプ上部を握って仰角概ね30度で保持し、体形は左足を1歩前へ踏み出し、膝をやや曲げると同時に体重を前方に置き、右足は放水の反動力を抑えるため、まっすぐ伸ばし前傾姿勢をとる。



- (2) ノズル操作時は、右手を筒先から離さないように滑らせながらプレイパイプ中央部付近へ移動し、筒先を右脇下と右腕で確実に抱え、左手を筒先から離さずに滑らせながらノズルを握り、徐々に操作する。

ノズル操作が終わったら、左手を離さないように滑らせてプレイパイプ上部に移動させ、次いで、右手をプレイパイプから離さないように滑らせながら取手を握り、基本注水姿勢をとる。



6 注水補助

補助員は、筒先員の反対側1歩後方（約70cm）に位置し、右足を1歩踏み出して右手で筒先側、左手でポンプ側のホースを持ち、反動力に耐え得るやや腰を落とした前傾姿勢で注水補助を行う。



7 参考文献

- (1) 総務省消防庁「消防操法の基準」
- (2) 東京消防庁「3訂版 目で見える消防活動マニュアル」東京法令出版 2017年
- (3) 消防教育訓練研究会 菊池勝也編著「3訂版 イラストでわかる消防訓練マニュアル」東京法令出版 2015年
- (4) 消防ポンプ操法研究会編集「初版 目で見えて分かる消防ポンプ操法」東京法令出版 2016年
- (5) 消防庁・日本消防協会「第25回全国消防操法大会操法実施要領」